

Press Release

◆ 内容についてのお問い合わせ

独立行政法人 国際協力機構 (JICA)

横浜国際センター 総務課 中小企業支援事業担当: 須藤、原田

TEL: 045-663-3252 (直通) FAX: 045-663-3265

2014年9月18日

報道関係各位

中小企業の海外展開を JICA が支援！

身近なエネルギーを防災・防犯に活かす！

＜ブラジルにおけるエネルギーハーベスティング技術の普及に向け JICA と藤沢市内企業、(株)音力発電が連携＞

国際協力機構 (JICA) は、9月2日付で株式会社音力発電 (代表取締役 速水浩平) の提案する「エネルギーハーベスティング技術に関する案件化調査」を仮採択しました。人が歩く時の振動から発電を行う「発電床」のブラジルにおける普及の可能性を検討するため「建設・建材」や「教育」業界の潜在的な顧客に関する調査や政府開発援助 (ODA) 事業への活用などについて調査を実施する計画です。



【歩行者誘導マット】
マットを踏むことで発電し、足元を照らす。



侵入者が発電床を踏んだ方向へカメラを向けて、侵入者の姿を映す。

近年、ブラジルでは農村から都市への人口流入が著しく、人口の 80% 以上が都市部に居住しています。また、一部の都市では電力の供給が必ずしも安定していません。その様な状況に伴い、都市部における火災などの災害の発生、強盗事件の増加などの治安の悪化が問題となっています。その背景には、建設物・住宅の安全基準の不十分な整備、或いは、安全基準が十分に順守されていない現実、また、歩道の照明不足の問題などが指摘されています。

株式会社音力発電は、建築物の火災発生時などの停電の際にも誘導灯を点灯させることができる「発電床」を活用し防災に役立てる、また、防犯対策として強盗の侵入経路として想定される場所に「発電床」を設置し、建築物内への侵入者をセンサーによって知らせるシステムなどを電力インフラが十分に整備されていない地域を中心に普及することを検討しています。本調査では、ブラジルの様々な政府機関や民間企業等における前述のような「発電床」の潜在的な需要の調査を行うとともに、現地の潜在的な顧客に対し「発電床」の実用的な利用方法のデモンストレーション等を実施する計画です。

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術を ODA 事業に活用するための情報収集、事業計画立案等を支援することを目的としたものです。本事業は 2012 年度から実施されており、2014 年度は本年 5 月に公示を行いました。今回、176 件の応募のうち 26 件が仮採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

以上